

令和5年度 学校評価アンケート（年間評価）結果について

1. 生徒アンケート集計と分析 ※実現度が高い項目の順に上から並べてあります。

生徒

質問項目	重要度	実現度
係やそうじ、委員会の仕事をしっかりできている。	6.4	6.0
友だちに嫌な思いをさせないようにしている。	6.6	5.9
学校の決まりや約束事を守っている。	6.3	5.8
家族と過ごす時間を大切にしている。	6.3	5.8
先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.4	5.7
学校に行くことが楽しい。	6.4	5.6
礼儀や言葉遣いに気をつけている。	6.5	5.6
授業に必要な準備をし、前向きに授業に参加している。	6.5	5.4
困ったことは、先生や家族に相談している。	6.2	5.2
家の手伝いをするなど、家族の一員としての役割を果たしている。	6.1	5.1
自分から進んであいさつをしている。	6.2	5.1
授業の内容がよくわかる。	6.5	5.0
早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活が出来ている。	6.4	5.0
学校からの配布物を保護者に渡している。	6.4	4.9
学校がいじめに対して取り組んでいることを知っている。	6.1	4.3
スマホ、タブレット、ゲーム等の使い方や時間について、ルールを決めて使用している。	5.5	4.2
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6.1	4.2
平日、課題の取組や家庭学習（塾や家庭教師の時間を含む）に、平均して1日1時間以上取り組んでいる。	5.8	4.0
1日平均30分以上（朝読書を含む）読書をしている。	4.7	2.7

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3 「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

今回、生徒用アンケートは、大きな学校行事も終わった2学期末の12月に実施しています。1年間の半分以上が過ぎた時期での実施となり、今年度の状況をしっかりと振り返ることが出来たのではないかと思います。その中で実現度の高い順に表をまとめさせていただきました。

実現度の高いものとしては、「係や掃除、委員会の仕事をしっかりできている。」(6.0p)「学校の決まりや約束事を守っている。」(5.8p)が挙げられます。学校生活に係る「責任」という面については重要度も高く、学校生活をしっかりやり抜こうとしている気持ちが表れています。しかしその反面、実現度の低い項目に「読書」(2.7p)や「家庭学習」(4.0p)に係る項目が挙げられます。アンケートの実施時期も定期テストが終わった後というのもこの数値に関係しているかもしれませんが、年間の振り返りとしては低い数値になっています。「読者」や「学習」に向く姿勢を維持続けることの重要性を高め、実現できるように努めていきたいと思えます。また、「重要度」は高いが「実現度」が低い項目で、「いじめ」に係る項目が挙げられます。「いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。」(4.2p)「学校がいじめに対して取り組んでいることを知っている。」(4.3p)

この二つの項目は、保護者のアンケートでも同様の傾向が表れていましたが、「重要度」は高く「実現度」が低くなっています。これは、学校内での生徒同士のトラブルに関して、先生に相談できず、「問題を抱え込んだままになっている生徒がいる。」とも考えられます。生徒たちが安心して学校生活を送るために、この項目の「実現度」を上げられる見守りが必要と考えます。「友達に嫌な思いをさせないようにしている。」という項目は「重要度」が一番高く(6.6p)なっています。生徒たち自身は、その思いをもって学校生活を送っています。些細なSOSの見逃さない生徒たちが安心できる学校環境を整えることが重要課題だと認識させていただきました。

2. 保護者アンケート集計と分析 ※実現度が高い項目の順に上から並べてあります。

保護者

質問項目	重要度	実現度
子どもは楽しく学校に通っている。	6.8	5.7
子どもに、友だちを大切にしよう働きかけをしている。	6.7	5.6
子どもが、先生や友だちから大切にされていると感じている。	6.6	5.4
子どもに、決まりや約束事を守るよう働きかけをしている。	6.7	5.4
家族で過ごす時間を大切にしている。	6.4	5.1
子どもに、礼儀や言葉遣いに気をつけるよう働きかけをしている。	6.5	5.1
子どものことについて、保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。	6.4	5.1
子どもに、自ら進んであいさつするよう働きかけをしている。	6.5	4.9
子どもに、授業に集中して取り組むように働きかけをしている。	6.6	4.9
学校からの配布物やホームページ等で、学校の様子が伝わってくる。	6.1	4.8
子どもが早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活ができるよう働きかけをしている。	6.4	4.8
子どもが学習内容をどの程度理解しているかをテスト結果や家庭学習などを通して把握しようとしている。	6.4	4.8
子どもに家族の一員としての役割(家の手伝いなど)を作るようにしている。	6.1	4.3
子どもに、家庭学習(塾や家庭教師の時間を含む)の習慣が定着するよう働きかけをしている。	6.3	4.3
学校行事や授業参観、PTA活動等に積極的に参加するようにしている。	5.1	4.1
子どものスマホ、タブレット、ゲーム等の使い方や時間について、ルールを設定している。	6.2	3.8
いじめなどで困った時に相談できる「いじめ対策委員会」が学校にあることを知っている。	6.5	3.6
学校いじめの防止等基本方針があることや、いじめに対して取り組んでいることを知っている。	6.4	3.6
子どもに、読書の習慣が定着するよう働きかけをしている。	5.8	2.9

○数値の計算方法について

重要度「とても重要である」…7「やや重要である」…5「あまり重要でない」…3 「重要でない」…1

実現度「とても出来ている」…7「やや出来ている」…5「あまり出来ていない」…3「出来ていない」…1

アンケートへのご協力ありがとうございました。

生徒アンケートの考察と同様に保護者アンケートの結果についても「いじめ」に係る項目の「重要度」と「実現度」に3.0p近くの隔たりがあります。学校として、この項目の数値を重くとらえ、課題改善に向けた取り組みを進めて行ければと思います。また、「保護者が学校に相談しやすい雰囲気がある。」という項目についても、中間評価の数値より0.1p下がっており、年度末に向けてより家庭との関係が深められなければいけない時期の数値として下がっている事に課題を感じています。学校と家庭との風通しを良いものにする事によって生徒の困りに気付くことが出来、成長する姿も共有することが出来ます。生徒の困りを早期に解決するためにもこの数値の改善に取り組んでいきたいと考えます。

次に、「学習」についてです。学校の目標として「学力向上」が根本にあります。生徒のアンケートの中に「授業の内容がよく分かる。」がありますが、「実現度」は中間評価から0.1p下がっています。授業改善に向け、「主体的・対話的で深い学び」に向けた研修を進める中、数値が上がっていません。学校としては、まだまだ継続して研修を深め、生徒たちの理解につながる授業を進めていきたいと考えています。また、生徒の理解をより深めるためには、家庭との連携も必要です。家庭学習の習慣化に向け、保護者の皆様にご協力いただき、今回のアンケート項目にもある「家庭学習の習慣が定着」できるように進めていきたいと思ひます。

中学生の時期は、多感な時期です。友人関係や学習・進路などで悩み、「学校に行きたくない。」という事もあります。今回のアンケートの結果からも「いじめ」に係る項目と「学習」に係る項目が浮き彫りになっています。保護者の皆様の期待に応え「楽しく学校に通える」学校を目指し、各ご家庭とも連携しながら改善を進めていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。